

テーマ「3年半ぶりの釜山旅行」

コロナも第9波真っ只中です。コロナ入院患者も20名を超え、どうにか院内クラスターとならないよう、必死で対策をしております。ただ、第5波までは若年者の重症例がありました。コロナも弱毒化し、軽症の高齢者がほとんどです。しかし、病院内ではクラスターが発生すると入院制限せざるを得なくなり、多数の職員が感染してしまうと病院は運営困難になります。以上の事も踏まえ、職員はもうしばらくカラオケ、外食等、制限を強いられま

す。

先月末、流行直前に3年半ぶりに友人関係 (Affiliate) を結んでいる釜山カンアン病院グループへ視察に行つて参りました。3年前の夏、日本全国でマスクが枯渇し、病院職員も大変苦勞しておりました。そんな時にカンアングループの具(グ)理事長から数万枚のガウン等を送っていただきました。韓国でも大変な時にとっても有難いことでした。今回、懇親会の折に産科の科長と話していたら、当時「具理事長はキチガイ(本人の言葉)か」と思ったと言つておりました。自分たちもガウンが無いのに何で日本に送るのかと。しかし、それと同時にすごく尊敬のできる人だと感じたそうです。やはりそうだったのですね! 敵に塩を送るといふ言葉があります。具理事長は敵ではないですが、友人を助けるために身を切つてくれたということに関して職員一同深く感謝をしたいと改めて思います。今回の訪問でも韓国の方がITに関しては進んでおり、しかも安価という事が分かりとても参考になりました。当院も早く追いつきたいものです。

令和五年八月八日 藤井 茂

第二十四章



藤井 茂